

トランプ米大統領による核実験再開表明の撤回を求める決議（案）

トランプ米大統領は今年１０月３０日、自身の SNS「トゥルース・ソーシャル」で、米国の核兵器実験再開を「戦争省」（国防総省）に指示したとする投稿を行った。いま世界では、核兵器使用の現実的な危険が生まれる一方、核兵器禁止条約が発効し、この条約を広げる国際的な努力が進められている。

こうしたもとで、米国が３３年間停止してきた核実験を再開すれば、世界平和への深刻な脅威となり、被爆者を先頭に国際社会が懸命にとりくんでいる「核兵器のない世界」への努力に対する重大な逆行となる。核実験の再開表明は、核不拡散条約（NPT）第６条が定める核保有国の核軍縮義務に真っ向から反するものである。米国内でも批判や懸念、困惑の声が広がり、メディアや専門家からは、冷戦時代のような核軍拡競争が再燃する恐れや、国際的な核不拡散体制が崩壊する危険などが相次いで指摘されている。

トランプ米大統領の核実験再開表明は、核戦争の脅威をさらに深めるとともに、核兵器のない世界をめさす上でも重大な障害になるものであり、「平和憲法を擁護し、核兵器のない平和都市であること」を宣言する目黒区の議会として見過ごすことはできない。

目黒区議会はトランプ米大統領に対し、核実験再開表明を撤回するよう求めるものである。以上、決議する。

２０２５年１２月 日

目黒区議会 議長 鈴木まさし